

平成 23 年度 全学FD

大学教育カンファレンス in 徳島

2012年 **1**月**6**日 **金**

8:50～18:00(8:30 受付開始)

会場 徳島大学大学開放実践センター

主要プログラム (プログラムの詳細は裏面をご覧ください)

■開会挨拶 (8:50～9:00)

■研究発表 I

- 口頭発表 24件 (9:00～12:10)
- ラウンドテーブル I (10:05～12:10)
学生への心理支援の実状と課題

■特別講演 (13:10～14:40)

学士課程カリキュラムの開発への視点
—目標との整合および学生実態の把握から—

鳥居朋子 先生 (立命館大学教育開発推進機構教授)

■研究発表 II

- ラウンドテーブル II (14:50～16:50)
授業で工夫していること～学生のやる気を引き出すために～
- ワークショップ (14:50～16:50)
教師のための「教える・学ぶ・ケアする」ワークショップ
- ポスター発表 18件 (17:00～18:00)

※カンファレンス終了後に情報交換会を行います。

■参加方法

どなたでもご参加いただけます。当日直接会場へお越しいただき、受付をしてください。
参加費無料 (情報交換会にご出席の方は、会費が3,000円となります。)

駐車場が限られているため、できるだけ公共交通機関をご利用の上で会場をお願いします。



駅から徒歩約20分。バスは【助任橋】を下車し歩いて約5分。

■お問い合わせ

徳島大学学務部教育支援課総務・企画係
大学教育カンファレンス in 徳島実行委員会事務局(担当: 奈良)
〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地
【TEL】 088-656-9868
E-mail: rie-nara@cue.tokushima-u.ac.jp
http://www.cue.tokushima-u.ac.jp/fd/

平成十四年度に開始された徳島大学の全学FD推進プログラムも
今年度は第四期の一年目にあたります。これまでのFD活動の成果を検証し、
FDネットワークを充実・発展させる機会となるよう、本学や四国の高等教育機関で行なわ
れている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた

努力の成果を確認するための教育カンファレンスを開催いたします。

皆様の積極的な参加をお待ちしています。

平成23年度 全学FD 大学教育カンファレンス in 徳島 プログラム

会期：2012年1月6日(金) 会場：徳島大学開放実践センター

8:50～9:00	学長挨拶 香川 征	
	<p>□頭発表A</p> <p>① 知的財産権を活用した自主的創造力創出教育手法の開発</p> <p>② 長期インターンシップによる大学院生の特長可能な産学連携教育のあり方</p> <p>③ 第2回工学教育に関するアジア会議(ACEE 2011)を開催して</p> <p>④ 創成学習開発センターの学生による自主創成活動</p>	<p>□頭発表B</p> <p>⑤ 大学生が考える在学中になすべき活動 ーDEEP PEOPLEの企画から見えてきたものー</p> <p>⑥ 学生による履修相談の取り組みの成果と課題 ー一行列のできる履修相談および抽選漏れのための履修相談の実施からー</p> <p>⑦ 学生による学び支援 ーWays Cafeーがちな企画・開催を通してー</p> <p>⑧ 徳島大学生の学外研修における学び ー全国の学生対象ワークショップへの参加を通してー</p> <p>⑨ Art and Culture Exchange 学生プロジェクトによる社会貢献と異分野間連携への取り組み</p> <p>⑩ 大学における日本語教育① ープロジェクトワーク型日本語教育の効果</p> <p>⑪ 大学における日本語教育② 「わかる」ではおられない、「できる」授業へ</p> <p>⑫ 卒業生満足度アンケートの解析</p>
9:00～10:00	<p>□頭発表A</p> <p>⑤ 「教える」ということ、「学ぶ」ということ第2報 ー科学イベントで学生TAが学んだものことー</p> <p>⑥ 地域の科学リテラシー普及を目指して</p> <p>⑦ 日理STC ーこの1年の取り組みー</p> <p>⑧ 大学生による小中高生向けロボット教室プロジェクトとその相互評価</p> <p>⑨ 参加型臨床実習(クリニカルワークシンプ)における学生の満足度に関連する要因について</p> <p>⑩ 養護教諭および歯科衛生士養成における多職種連携教育の試み</p> <p>⑪ アニメーション作品を取り入れた心理学授業の実践 ー「移行対象」と「トランス・オブ・あちゃんの思い出」ー</p> <p>⑫ 卒業生満足度アンケートの解析</p>	<p>□頭発表B</p> <p>① モンゴル国における1st International Student Conference開催の意義</p> <p>② 総合科学部社会創生学科「文系数学の基礎」の授業開発と実施</p> <p>③ キャンパスライフにおける問題点から見える学生支援ー問題の洗い出しから具体的な支援までー</p> <p>④ 大学生による交流型ワークショップの成果と課題ー「キャンパス・ビジョン」の企画・開催を通してー</p>
10:05～11:05	<p>□頭発表A</p> <p>⑤ 学生への心理支援の実状と課題</p> <p>1. 早期対応のための心理支援体制 保健管理センター 二宮恒夫</p> <p>2. 面接実施方法と今後の課題 学生支援センター学生相談室 山本真由美</p> <p>3. 健康診断を利用した学生のメンタルヘルス支援 保健管理センター 井崎ゆみ子</p>	<p>□頭発表B</p> <p>⑤ 大学生が考える在学中になすべき活動 ーDEEP PEOPLEの企画から見えてきたものー</p> <p>⑥ 学生による履修相談の取り組みの成果と課題 ー一行列のできる履修相談および抽選漏れのための履修相談の実施からー</p> <p>⑦ 学生による学び支援 ーWays Cafeーがちな企画・開催を通してー</p> <p>⑧ 徳島大学生の学外研修における学び ー全国の学生対象ワークショップへの参加を通してー</p> <p>⑨ Art and Culture Exchange 学生プロジェクトによる社会貢献と異分野間連携への取り組み</p> <p>⑩ 大学における日本語教育① ープロジェクトワーク型日本語教育の効果</p> <p>⑪ 大学における日本語教育② 「わかる」ではおられない、「できる」授業へ</p> <p>⑫ 卒業生満足度アンケートの解析</p>

13:10～14:40	<p>特別講演</p> <p>演題：「学士課程カリキュラムの開発への視点ー目標との整合および学生実態の把握からー」 講師：鳥居朋子先生(立命館大学教育開発推進機構教授)</p>	<p>ワークシヨップ</p> <p>◆ 教師のための「教える・学ぶ・ケアする」ワークシヨップ 徳島文理大学 牧裕夫</p> <p>国際センター Gehrtz三隅友子</p>
14:50～16:50	<p>ラウンドテーブルII</p> <p>★ 授業で工夫していること～学生のやる気を引き出すために～ 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 余郷裕次 阿南工業高等専門学校機械工学科 奥本良博 四国大学短期大学部 学修支援センター 谷川裕徳 徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 研究部 伏見賢一</p>	<p>ポスター発表</p> <p>① 高大連携事業「高校生の大学研究室への体験入学型学習プログラム」実施報告(第3報)</p> <p>② 学習支援ボランティアに対する学内支援体制と内容</p> <p>③ 看護系大1年生に実施した高齢者ふれあい実習の初年度における効果と課題ー学生への授業評価よりー</p> <p>④ 医療技術系大生が受講する「ヒューマンコミュニケーション：社会人としてのマナーを学ぶ」の授業方法と課題ー学生への授業評価よりー</p> <p>⑤ 医療職を目指す多専攻の学生が合同で履修する「人間関係論」の課題ー学生への授業評価よりー</p> <p>⑥ グループ・ワーク型授業を活性化させるための取り組みーコックピット・ソルース・マネージメントの授業への応用ー</p> <p>⑦ 医療系学部における多職種連携教育(IPE)の取り組み～蔵本キャンパスすべての1年生による合同ワークシヨップ～</p> <p>⑧ 学外体験学習における教育管理システムの運用とその効果</p> <p>⑨ 学生の実習成果向上を目的とした学外実習施設指導薬剤師と徳島大学薬学部実務家教員の連携指導の実施と検証</p> <p>⑩ Facultyセンター、Teaching&Learningセンターの役割ープリガム・ヤング大学(プロボ)の場合ー</p> <p>⑪ 橋本メソッドを用いた大人数授業での授業デザインについて</p> <p>⑫ 徳島大学のイングリッシュ・サポートルームについて</p> <p>⑬ 徳島大学のイングリッシュ・サポートルームにおける特別プログラム「クリエイティブ・ライティング」の実施とその結果について</p> <p>⑭ 徳島大学のイングリッシュ・サポートルームにおける特別プログラム「英語の発音」の実施とその結果について</p> <p>⑮ 徳島大学のイングリッシュ・サポートルームにおける特別プログラム「礼儀正しい英語」の実施とその結果について</p> <p>⑯ 4年一貫就業力育成プログラムとそれに基づく初年次キャリア教育の実践ー大生学生の就業力育成支援事業採択自らの就業力向上を促す異立ちプログラムー</p> <p>⑰ 「看護技術」演習をグループで効果的に進めるための取り組み</p> <p>⑱ 高専におけるティーチング・サポートフォリオの広が</p>
17:00～18:00		
18:30～20:30		情報交換会